

# 1 . 風水害に関する知識 ( 台風について )

## 1 . 台風とは？

台風は、熱帯地方で発生する低気圧のうち、東経 180 度以西の北太平洋及び南シナ海で中心付近の最大風速が 17.2m/s (風力 8) 以上になったものを台風といいます。

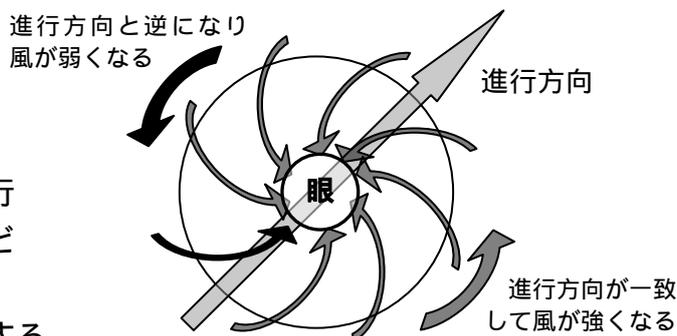
## 2 . 台風の進路と災害

台風は強い風と雨を伴い、各種の風水害を誘発しますが、一般に台風の進行方向に対し右半分の方で強い風が吹きやすい。

これは、台風のコースの右側では台風の中心に吹き込む南よりの風に、南よりの一般流 (台風の渦巻きを流す上空の流れ) が一致するためです。

したがって、台風のコースに近い進行方向右側の地域では、暴風雨、高潮などに対するより一層の警戒が必要です。

また、進行方向左側の地域も雨に対する警戒は必要です。



台風の眼に入ると風は急に弱くなり、時には青空が見えることもあります。しかし、眼が通過した後は風向きが反対の強い風が吹き返します。台風の眼に入った場合の平穏は「つかの間の平穏」であって、決して台風が去ったことではありません。

## 3 . 台風の大きさと強さ

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように台風の大きさと強さを表現します。

大きさは「強風域 (平均風速 15m/s 以上の強い風が吹いている範囲)」の半径で、台風の強さは「最大風速」で区分しています。

さらに、強風域の内側で平均風速 25m/s 以上の風が吹いている範囲を暴風域と呼びます。



《台風の強さと階級分け》

階 級	最大風速
強い	33m/s 以上 ~ 44m/s 未満
非常に強い	44m/s 以上 ~ 54m/s 未満
猛烈な	54m/s 以上

《台風の大きさと階級分け》

階 級	風速 15m/s 以上の半径
大型 (大きい)	500km 以上 800km 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上

#### 4. 風と被害について

台風等による風の強さによる被害の目安は下記のとおりです。

##### 《風と被害について》

風速	被害の程度(目安)
風速 10 m/s	傘(かさ)がさせない
風速 15 m/s	看板やトタン板が飛びはじめる
風速 20 m/s	小枝が折れる
風速 25 m/s	瓦が飛び、テレビアンテナが倒れる
風速 30 m/s	雨戸がはずれ、家が倒れることもある

国土交通省による。風速は10分間の平均風速

#### 5. 日本の過去の台風による被害例(気象庁HPより)

風によって引き起こされる災害には、風害・水害・高潮害・波浪害などがあります。もちろん、これらが単独で発生することはなく、複合して発生し大きな被害となります。過去の台風による災害の例をいくつか紹介します。

台風名	死者・行方不明(人)	負傷(人)	住家被害(棟)	建物浸水(棟)	船舶(隻)	上陸・接近年月日
室戸台風	3,036	14,994	92,740	401,157	27,594	1934(昭和9)年 9月21日
枕崎台風	3,756	2,452	89,839	273,888	不祥	1945(昭和20)年 9月17日
伊勢湾台風	5,098	38,921	833,965	363,611	7,576	1959(昭和34)年 9月26日
平成2年 第19号	40	131	16,541	18,183	413	1990(平成2)年 9月19日
平成3年 第19号	62	1,499	170,447	22,965	930	1991(平成3)年 9月27日
平成5年 第13号	48	396	1,784	3,770	不詳	1993(平成5)年 9月3日

台風名	死者・行方不明(人)	負傷(人)	住家被害(棟)	建物浸水(棟)	船舶(隻)	上陸・接近年月日
平成16年第18号	46	1,399	64,993	21,086	1,592	2004(平成16)年9月7日
平成16年第23号	98	721	21,350	54,347	494	2004(平成16)年10月20日